

# 又ますだ 市議会だより

広報から「市議会だより」を抜き取られると読みやすくなります。



改選された益田市議会議員と執行部三役

## 第489回 9月定例市議会

9月定例市議会は、9月22日から10月14日までの23日間開催されました。会期中に審議した案件は、予算11件、条例2件、人事1件、認定17件、一般1件、報告2件及び議員提出の条例1件、人事1件、意見書2件、その他請願2件、陳情3件でした。また、市政全般にわたって、16名の議員が一般質問を行いました。

次回定例会の予定は  
**12月2日(金)～19日(月)**です。

なお、正式決定は11月下旬の議会運営委員会で行います。議会事務局までお問い合わせください。 (☎31-0490)

本会議場の様子をインターネットに加え、  
ケーブルテレビでご覧いただけます!!  
詳しくは、3ページをご覧ください。

## 第489回 定例会

### こんなことが決まりました

平成22年度の「益田市一般会計歳入歳出決算の認定」と「特別会計歳入歳出決算の認定」について

「平成22年度益田市一般会計歳入歳出決算の認定」は、議長、前監査委員を除く全議員による決算審査特別委員会において審査しました。また「平成22年度施設貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定」など15件の特別会計決算及び「平成22年度水道事業会計決算の認定」は、該当の常任委員会で審査し、最終日に、本会議において決算関係の全ての議案を認定しました。

● 委員長 河野 利文	○副委員長 林 阜雄	一般会計決算審査特別委員会
・議長、前監査委員を除く 22名の議員		

#### 平成23年度一般会計補正予算の主な内容（千円）

財政調整基金積立金	210,379
道路更新防災等対策事業費	119,720
地域振興基金積立金	100,000
消防団員等公務災害補償負担金	17,183
簡易水道事業対策繰出金	13,280
萩・石見空港マラソン全国大会開催経費	7,200

では、6億4千471万9千円の追加補正予算が可決され、補正後の予算総額は、257億8千214万2千円になりました。補正予算の主なものは、左表のとおりです。

また、施設貸付事業特別会計補正予算第1号（補正額580万5千円）総額5千530万3千円）などが、それぞれ議決されました。



会計補正予算第1号（補正額580万5千円）

額580万5千円 補正後の総額5千530万3千円）などが、それぞれ議決されました。

### 一般案件

町の区域の変更  
行政区域の整理のための町の区域の変更（乙吉町の一部を中吉田町へ編入）

農業委員会委員の推薦  
田原 良隆 氏

### 人事案件

固定資産評価審査委員会委員の選任  
林 阜雄 氏

### 条例の一部改正

益田市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例制定  
弔慰金支給範囲の拡大に係る所要の改正

- ・健全化判断比率について
- ・資金不足比率について
- ・地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定に基づく報告

議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例等の一部を改正する条例制定  
障害者自立支援法の改正に伴う所要の改正

益田市議会基本条例の一  
部を改正する条例制定  
地方自治法の改正に伴う所要の改正



### 今期議会で可決し関係機関に提出した意見書

- 地方消費者行政充実のための国による支援に関する意見書
- 「介護職員処遇改善交付金」の継続を求める意見書

## みなさんからの請願・陳情審議結果

### 9月定例市議会受理分

請願番号	件 名	提出者	議決結果	議決態様
	原子力発電からの脱却を求める意見書の提出について	大久保 稔	不採択	挙手多数
5 東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所の重大な事故に際し、原子力発電の安全対策とエネルギー政策についての抜本的な見直しが喫緊の課題であることは言うまでもない。本請願もそうした主旨のもとになされたものであり、大部分において支持すべき内容であると考えられる。				
しかしながら主文となる脱原発方針の明確化や、原発増設計画の白紙撤回などの部分は、国が十分な検討をもとに適否を判断すべき部分に踏み込んでおり、福島第一原発における事態の收拾や原因の徹底究明などがなされていない現時点においては、時期尚早と考えられる。				
これらのことから、今少し国の動静を見守る必要があると判断し、本件については不採択と決した。				
6	「介護職員処遇改善交付金」の継続を求める意見書の提出について	日本共産党益田・高津支部 支部長 亀山 将	採 択	挙手全員

陳情番号	件 名	提出者	議決結果	議決態様
4	地方消費者行政充実のための国による支援に関する意見書の提出について	島根県弁護士会 会長 熱田 雅夫	採 択	挙手全員
5	建設事業に関わる鉄骨工事の発注について	株式会社 志田原鉄工 代表取締役 藤井 実 ほか3名	採 択	挙手全員
6	合併処理浄化槽設置整備事業補助金の補助対象枠の拡大について	社団法人 島根県浄化槽協会益田支部 支部長 吉村 祥一	採 択	挙手全員



**ケーブルテレビ（ひとまるビジョン）**  
**定例会・臨時会どちらも放映**

- 生中継（112チャンネル）… 定例会及び臨時会の本会議場での会議を開会から閉会まで中継
- 再放送（111チャンネル）… 定例会での一般質問の様子を全質問者の日程終了の翌日から質問順に1日1人ずつ放送（土日を除く）

**インターネット 定例会での一般質問を録画配信**

- 一般質問の様子の録画中継を全質問者の日程終了1週間後から配信  
 ※好きな時間に聴きたいところを見ることができます。  
 益田市HP内 (<http://www.city.masuda.lg.jp/>) 「益田市議会」よりご覧ください。

## 9月議会の審議結果

議案番号	議 決 案 件	議決結果	議決態様
(市長提出議案)			
議第77号	平成23年度益田市一般会計補正予算第2号	可 決	挙手全員
議第78号	平成23年度益田市施設貸付事業特別会計補正予算第1号	可 決	挙手全員
議第79号	平成23年度益田市介護保険特別会計補正予算第1号	可 決	挙手全員
議第80号	平成23年度益田市国民健康保険事業特別会計補正予算第1号	可 決	挙手全員
議第81号	平成23年度益田市後期高齢者医療特別会計補正予算第1号	可 決	挙手全員
議第82号	平成23年度益田市国営土地改良事業特別会計補正予算第2号	可 決	挙手全員
議第83号	平成23年度益田市造林受託事業特別会計補正予算第1号	可 決	挙手全員
議第84号	平成23年度益田市匹見財産区特別会計補正予算第1号	可 決	挙手全員
議第85号	平成23年度益田市公共下水道事業特別会計補正予算第1号	可 決	挙手全員
議第86号	平成23年度益田市駐車場事業特別会計補正予算第1号	可 決	挙手全員
議第87号	平成23年度益田市水道事業会計補正予算第1号	可 決	挙手全員
議第88号	益田市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例制定について	可 決	挙手全員
認定第1号	平成22年度益田市一般会計歳入歳出決算の認定について	認 定	挙手多数
認定第2号	平成22年度益田市施設貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	挙手全員
認定第3号	平成22年度益田市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	挙手全員
認定第4号	平成22年度益田市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	挙手全員
認定第5号	平成22年度益田市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	挙手全員
認定第6号	平成22年度益田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	挙手多数
認定第7号	平成22年度益田市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	挙手全員
認定第8号	平成22年度益田市国営土地改良事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	挙手多数
認定第9号	平成22年度益田市市有林事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	挙手全員
認定第10号	平成22年度益田市造林受託事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	挙手全員
認定第11号	平成22年度益田市匹見財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	挙手全員
認定第12号	平成22年度益田市益田駅前地区市街地再開発事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	挙手多数
認定第13号	平成22年度益田市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	挙手全員
認定第14号	平成22年度益田市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	挙手全員
認定第15号	平成22年度益田市駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	挙手全員
認定第16号	平成22年度益田市土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	挙手全員
認定第17号	平成22年度益田市水道事業会計決算の認定について	認 定	挙手全員
議第89号	町の区域の変更について	可 決	挙手全員
議第90号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同 意	起立全員
報第28号	健全化判断比率について	報 告	
報第29号	資金不足比率について	報 告	
議第91号	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例等の一部を改正する条例制定について	可 決	挙手全員
(議員提出議案)			
推薦第2号	農業委員会委員の推薦について	推 薦	異議なし
議第92号	益田市議会基本条例の一部を改正する条例制定について	可 決	挙手全員
議第93号	地方消費者行政充実のための国による支援に関する意見書について	可 決	挙手全員
議第94号	「介護職員待遇改善交付金」の継続を求める意見書について	可 決	挙手全員

## 益田市議会委員会等構成表

議 長	石田 米治	副議 長	山根 哲朗
-----	-------	------	-------

### 各常任委員会

	総務委員会	経済委員会	建設委員会	文教厚生委員会
委員長	林 卓雄	久城 恵治	中島 守	井藤 章雄
副委員長	河野 利文	亦賀 統佳	和田 昌展	松原 義生
委 員	石田 米治	大畑 一美	大賀 満成	三浦 智
々	山本 浩章	弥重 節子	梅谷 憲二	安達美津子
々	永見おしえ	寺井 良徳	弘中 英樹	野村 良二
々	大久保五郎	山根 哲朗	久保 正典	安達 幾夫
々	福原 宗男	佐々木恵二	—	—

監査委員	弘中 英樹
農業委員	林 卓雄

### 議会運営委員会

委員長	佐々木恵二
副委員長	大久保五郎
委 員	河野 利文
々	久城 恵治
々	中島 守
々	福原 宗男
々	寺井 良徳

### 広報広聴委員会

委員長	林 卓雄
副委員長	井藤 章雄
委 員	和田 昌展
々	弥重 節子
々	河野 利文
々	久城 恵治
々	中島 守
々	松原 義生

### 議会だより編集委員会

委員長	永見おしえ
副委員長	中島 守
委 員	山本 浩章
々	大畑 一美
々	弥重 節子
々	安達美津子
々	松原 義生

### 土地開発公社

理 事	梅谷 憲二
々	中島 守
々	松原 義生
々	永見おしえ
々	林 卓雄
監 事	寺井 良徳
々	安達 幾夫

益田地区広域市町村圏事務組合議会議員			
石田 米治	山本 浩章	三浦 智	和田 昌展
弥重 節子	河野 利文	井藤 章雄	永見おしえ
弘中 英樹	林 卓雄	大久保五郎	福原 宗男
寺井 良徳	安達 幾夫	佐々木恵二	久保 正典

都市計画審議会委員	水防協議会委員	環境審議会委員	廃棄物減量等推進審議会委員	国民健康保険運営協議会委員	学校整備計画審議会委員	まちづくり基本条例検討委員会委員
大賀 満成	石田 米治	石田 米治	中島 守	久城 恵治	河野 利文	河野 利文
中島 守	中島 守	三浦 智	山根 哲朗	弘中 英樹	永見おしえ	久城 恵治
松原 義生	林 卓雄	大畑 一美		野村 良二	林 卓雄	中島 守
弘中 英樹				久保 正典		大久保五郎
寺井 良徳						

奨学金貸付審議会委員	民生委員推薦会委員	人権・同和問題解決推進委員	秦佐八郎博士顕彰委員会委員	社会教育委員	学校給食共同調理場運営委員
山本 浩章	石田 米治	安達 幾夫	山本 浩章	井藤 章雄	安達美津子
安達美津子	山根 哲朗				野村 良二

国土利用計画策定委員会委員	都市計画マスターープラン策定委員	益田地区国営対策協議会	健康ますぐ市21推進協議会会員	青少年育成市民会議委員	沿岸漁業水産振興協議会委員
中島 守	中島 守	久城 恵治	松原 義生	野村 良二	亦賀 統佳
永見おしえ	永見おしえ				久城 恵治



山本 浩章 議員

般問

市政のこころが知りたい

## 市民の声を代弁する 一般質問の掲載について

一般質問の記事は、決められた文字数のなかで、議員本人が要約し掲載しています。なお詳細については会議録をご覧ください。

マニフェストは政権を担当しうる国会議員か地方の首長しか作れない。市議と同列に論じるのは過ちだ。市長は当選直後の議会で「公約はマニフェストだと答弁している。元々明確な内容のない公約であつたのか。

上しない。地域最大の雇用主である市役所が門戸を閉ざせば、若者流出と人口減少が加速する。

学校給食センター



井藤 章雄 議員

益田市議会議員一般選舉

問 この度の選挙の開票に際し、時間短縮や経費の削減など創意工夫をした点はあるか。

**答** 次回選挙に向け、すべての箇所の点検作業を進めて実施して臨まれたのか。

**問** し時間短縮に努めた。  
**答** 今後も住民サービスの向上、人件費の削減、職員の意識改革などにより、さらに改善をお願いしたい。

問  
選挙ポスター掲示箇所

か1ヶ所増えた理由は何か。

前回の知事選挙と同様にした。

**問** 指示場所の設置基準について、公職選挙法に規

定はあるか 既存の場所から 100 m の距離で 経費の

無駄との市民の声もあるがどうか。

**答** 設置場所の近接する管  
所の見直しも検討したい。

問 捲示場一覧表の所在地と、設置場所が異なつた記

載か横田地図たゞても2ヶ所あつた。選挙に際し点検

答 次回選挙に向け、すべ

問 今回の投票率は前回に  
ている。

比べ6%低下した。市民への周知も含め、改善策を検討する必要はないか。また期日前投票の状況はどうか。

**答** 要因については、周知啓発のみならず社会情勢や政治への関心などさまざまあるが、引き続き努力していきたい。期日前投票は増加の傾向にあり、16・3%、約6,700人となっている。

## 国民年金業務

問 高齢化が進む中で、年金は将来の生活設計になくてはならない存在である。収納率が低下している。当市の状況はどうか。

**答** 平成22年度は70・6%である。島根県全体では、70・8%である。

問 高齢者世帯の約6割の人々が年金収入だけで生活している実態がある。当市の加入者が1年間に納付する保険料額と、受給者が1年間に受給する額の割合はどうか。

**答** 国民年金以外の他の年金制度もあり、全体的な割合振興計画を策定した。

合をつかむことはできない。

問 私の調査では、1年間の納付額は四億六千七百万円、これに対し老齢基礎年金の受給額は約九十五億円

で、納付額の実に20倍の年金が当市に入っている。収納率の向上が今後も重要なが、対策はあるか。

**答** 浜田年金事務所とも一層連携を密にし、広報での周知を含め収納率の向上に寄与していきたい。



久城 恵治 議員



清流日本一高津川

(写真提供：フォトクラブ高津川21)

問 「選択と集中」をしなければ、具体的な成果は出ないと思うが。

**答** 医療・教育・経済・中山間地の4点に特化したい。

問 総合振興計画の見直しは、どの様に行うのか。行う際には、議会にその政策決定プロセスをオープンにして欲しい。

**答** 財政の優先順位でなく政策の優先順位を持つて、毎年行う。

問 努力目標人口「4万6千人」をどう実現に向けて、進めいくのか。

**答** 様々な方法論を持つて、体制は整えたい。

問 職員の削減により、市役所組織が、意識の向上、筋肉質になつたと思ふか。

**答** これは、非常に常にあると思う。若い方の活躍の場が増えてきた。

問 歴史文化研究センターの設置、歴史を活かしたまちづくり本部の立ち上げなどを考えている。

答 社会増減をプラスに転ずる、今も常に念頭において行っている。

## 歴史を活かしたまちづくり

問 本市において、益田家文書の価値をどのように位置づけているのか問う。

**答** 国宝の島津家と同等規模の資料であり、極めて重要な本市の財産である。

問 今回発掘された、中須七尾城とセットで国指定になるべき遺跡だと思うが、保存についてどう考えるか。

**答** これは歴史的な判断である。後世に対しても、過去の先人に対しても、極めて重要かつ、厳しい判断が迫られている。

問 歴史を活かしたまちづくりは、本市の大きな柱になる計画にしなければならないと思うが、改めてどうか。

**答** これは歴史的な判断である。後世に対しても、過去の先人に対しても、極めて重要かつ、厳しい判断が迫られている。



三浦 智 議員

答 本市や地元自治会が管理しているが、負担を減らすためにこれからはいろいろな方法を考えていきたい。

問 誘致企業のPRについてはどうしているのか。

答 独自のパンフレットを作成しPR活動をしていきたい。

問 独自のパンフレットを作成しPR活動をしていきたい。

問 この度、貸し工場に進出する二社の企業が決まりたが、まだ用地は三分の二が空いている状態である。

今後の企業誘致についてどう考えているか。

答 これを一つの布石と考え、県とも協議し企業誘致を促進したい。今後の展開に期待して欲しい。

問 各関係者の連携を図つて行く上での組織は存在するのか。

答 存在する。各協議会、連絡会で情報提供や意見交換をしている。

問 スポーツ広場や公衆トイレは誰が管理しているのか。また、これからどうしていくのか。



石見臨空ファクトリーパーク

答 多額の投資が必要なため、長期的視野で検討している。他にも各種あるが統一された方法を考えていく。

問 ファクトリーパークの災害時の危機管理体制はどうか。

答 危機管理計画はすでに作成されているが、避難訓練などについては、今後協議していきたい。

問 自治会所有の建物等に対する補助金などはあるか。

答 現在、補助金についてゼロベースで見直しをしている。現時点では何とも言えない。

問 地域振興

答 これから地区振興センターの役割は重要になってくるが、どう考えているのか。

答 地区振興センターは、地域振興の拠点と考え、補助金の見直しや環境整備などを実行していく。

問 各地区振興センター間での交流はあるのか。

答 活動の例として国道19号沿の地区振興センター間では、「輝」という協議会を設置し活動している。

問 本市独自の観光マップはあるのか。

答 「旅の終わりを探して」というマップを作成している。他にも各種あるが統一された方法を考えていく。

問 ファクトリーパークの災害時の危機管理体制はどうか。

答 バリアフリー化改修工事に対する補助金などはあるが、現時点では何とも言えない。

問 地域活力の創出と一体感の醸成に向けて

答 私は一流の田舎まちという言葉の中で、大事なことは益田にあるものを活かすということを申し上げてきた。これは諸先輩方の知恵も同様である。私の考え方自体これまで、またこれからも先輩方の知恵を受け継ぎ生かしていくということにあります。このことは紛れもない事実であり、約束できると思っています。

問 第5次総合振興計画には、「地域に根づく教育・食農教育を推進」「こだわりの益田ブランドを推進」

とき、まだまだギリギリ間に合うと思う。自宅に近い野山をきれいにして集落を維持し、益田の隅々を守ってくれている。今、急いでいる。

資源調査に取り組んでほしい。先輩方が生活の中で培つてこられた経験に基づく知恵の数々を市の金庫に取り込み、本市の施策に生かしていく約束をしていただきたい。

問 自治会所有の建物等に対する補助金などはあるか。

答 私は「地域に根づく教育・食農教育を推進」とある。私はそういう観点で「米あめ」をその一つの題材にしたいと考えている。これは非常に滋養効果の高いものであり保存が効く。材料の調達



山根 哲朗 議員

問 本議会だより





問 地域活性化総合特区申請の状況や益田市、津和野町、吉賀町との今後の連携を取り組みについて聞く。



佐々木 恵二 議員



地域の宝、高津川の鮎

問 中山間地域における住民の不安に対しても、美都町・匹見町との合併により導入できた過疎債の活用が求められるが。



中山間地域対策

問 児童・生徒数の減少に伴う学校の小規模化から計画が策定されている。学校

## 地域活性化総合特区

いる。歴史を活かしたまちづくりは市の大きな柱で、年内にも益田圏域歴史文化研究センターを立ち上げたい。

問 同研究センターは、調査研究機関として期待されている。萩の観光振興に寄与している萩博物館は、まことに学芸員確保から着手したという。学芸員の全国公募などの考えは。

答 文化財担当と中長期的なことについて話し合いを始めしており、そうしたことでも踏まえ検討したい。

答 総務省の原風景を体感し、ふるさとを感じていただける流域となると考へており、財政、税制等優遇措置もある。そして申請の採択可否に関わらず、市として広域が連携した取り組みの中で、首長同士、幹部、担当同士の連携も図りパイプを広げていく。

問 清流日本一高津川という認定が再度されたが、今後清流日本一を堅持する取

問 中山間地域における住民の不安に対しても、美都町・匹見町との合併により導入できた過疎債の活用が求められるが。



## 小・中学校の再編計画

### 学校給食センター建設

問 全校を対象として1つの施設でとあるが、美都地区、匹見地区は、別の施設でという議論はなかつたのか。コストだけでなく、地

答 総合特区の申請は、清流高津川を核とした森林資源、有機農園クラインガルテン、鮎をはじめとする水産資源等を活用した交流人口の拡大を推し進め、地域再生モデルを構築するものである。高津川流域の日本の原風景を体感し、ふるさとを感じていただける流域となると考へており、財政、税制等優遇措置もある。そして申請の採択可否に関わらず、市として広域が連携した取り組みの中で、首長同士、幹部、担当同士の連携も図りパイプを広げていく。

答 高津川の鮎は、需要に對して供給が追いついていない状況にある。ふるさと市町村圏基金等の捻出をしながら、政策上に盛り込んでいく必要があると考えがいかがか。

答 買い物は大変重要な毎日の生活に関わることであり、今後実態調査をもとに老人福祉計画を作成し検討していく。中山間地域医療については、市として政策至上さまざまな角度で守つていく努力をしていく。

答 未来を担う子供たちに最高の教育環境を提供したい。地域の中での学校の役割は大変大きいと認識している。対策協議会は全17対象地区中、7地区設置決定、残りの地区について設置に向け支援していく。

答 一度認定から外れたこともあり、今後さらに堅持していく必要もある。「河川を美しくする条例」により、河川浄化や環境の保全に努めていく。

答 買い物弱者への今後の対応、そして医療について不安視する声もある。過疎債を活用して、今後不安解消に向けた取り組みについての考え方を問う。

答 買い物は大変重要な毎日の生活に関わることであり、今後実態調査をもとに老人福祉計画を作成し検討していく。中山間地域医療については、市として政策至上さまざまな角度で守つていく努力をしていく。

答 高津川漁業振興協議会に高津川漁協と一緒に助成している。旬である9月の鮎をどうPRしていくのかという問題について、市として力を入れていく。

答 未来を担う子供たちに最高の教育環境を提供したい。地域の中での学校の役割は大変大きいと認識している。対策協議会は全17対象地区中、7地区設置決定、残りの地区について設置に向け支援していく。

答 過疎債のソフト事業に本年度、一億円の枠があることから、財政的にそれぞ

産地消、食育、地域雇用も含め長い目で地域のことを考えれば良いのに残念に思う。2度の諮問、答申を繰り返されながら何故PFIから公設民営になつたのか、経緯がわかりづらい。

答 旧匹見町への建設について議論はなかつた。市民の会などから基本構想の見直しを求める署名もいた。美都の調理場を残す議論もあつたが、平成22年3月に基本計画を策定。1ヶ所での公設民営方式により事業を進めている。

## 市職員半減 250人体制



永見 おしえ 議員

臨時・嘱託職員も市職員だる。地域で企業の方に新卒者の採用をお願いしながら、市役所自ら新卒者等地元雇用の門戸を閉ざしているのではないか。

答 外部委託、民間委託により新しい仕事の発生は十分考えられる。

問 定員適正化計画と目標達成年度等の関連はどうか。半減は正規職員ということか。

答 退職不補充を基本とすると、平成37年度達成となる。早期退職の補充は年々検討する。正規職員を半減するということだ。

問 早期退職を期待するかのような対応はいかがか。

市民の安全・安心への取り組み

問 医療、産科問題の今後の対応についての考え方聞く。

答 地域医療を守るために情報収集をさらにを行い、医師招聘に向けての県外の大

学への派遣要請などを引き続き行いたいと考えている。

問 学校図書館の司書・ボランティア司書の配置で、子どもたちの読書への関わりはどうか。



きれいに整備された学校図書館

## 市議会議員一般選挙の対応

問 投票時間の変更の経過について聞く。

答 前回の県知事・県議選挙から、投票ごとの時間帯別投票者数を調査し、県選管や地区振興センターとも協議の上で41投票所について時間を繰り上げた。

問 投票時間の表記について聞く。

問 高齢者福祉課と包括支援センターの連携について聞く。

答 高齢者福祉課の中に包括支援センターを設置している。連携を密にして親切丁寧な対応ができるよう指導していく。

問 小・中学校での防災教育の今後の取り組みを聞く。

答 大地震や大津波を想定した避難訓練、児童・生徒の意識を高めるための防災教育を実施できるよう指導・支援したい。

**答** 前回は、投票所の閉鎖時刻別に順番を並べて記載したが、自分の投票区を探していくと考え方投票区順に掲載した。



河野 利文 議員

### 産科医療の現状と対策

**問** 8月から安田・鎌手地区の方々を対象とした益田赤十字病院の分娩制限が始まっている。現状をどう把握しているか。

**答** 現在までに益田赤十字病院から紹介された方は7名で、8月から12月までの紹介者は26名、1月から3月までは28名が該当となっている。産科については、島根大学の医局も産婦人科医が約10名と少ない中で、益田圏域のために応援をしていただいている。

### 今後の地域運営の仕組み

**答** 例えればひとまろビジョンで特別番組を制作するなど、映像も活用した取り組みなども必要と思つている。

**問** 産科医療も含めた医療の現状を知つてもらうさらなる取り組みが必要と思うが。

**答** 11月頃を予定している。



市民活動の支援拠点となる市民活動支援センター

**問** 以前から市民活動支援センターの場所や運営形態など、見直しを求めてきたが検討後の状況は。

**答** 益田市としての一定の方針を策定し、立ち上げに向かっていきたい。



**問** がん検診の強化について、議会が、県の新しい公共の場づくりのためのモデル事業の採択を受けたことから、この組織と一緒に市民活動の支援をすることがよ

**答** 何らかの対応が必要になる。

**問** 学校整備計画審議会はいつ開かれるのか。

**答** 11月頃を予定している。

**問** がん検診の強化について、議会が、県の新しい公共の場づくりのためのモデル事業の採択を受けたことから、この組織と一緒に市民活動の支援をすることがよ

**答** 特定検診に可能な限りがん検診をセットで行えるように検診委託機関と調整を行つてはいる。また、休日にはがん検診を一度に受診できるサンデー検診、お昼体



松原 義生 議員

### がん検診の強化

**問** がん検診の強化について、議会が、県の新しい公共の場づくりのためのモデル事業の採択を受けたことから、この組織と一緒に市民活動の支援をすることがよ

**答** 特定検診に可能な限りがん検診をセットで行えるように検診委託機関と調整を行つてはいる。また、休日にはがん検診を一度に受診できるサンデー検診、お昼休

**問** 通院費の助成についてはどう検討してきたか。

**答** 他の医療機関に紹介された妊婦の通院費などの支援額は、列車の便数も限られていることから、運賃に特急料金を加算し、初診料も加味して基準額を設定した。

**問** 学校再編に係る学校で、耐震診断の結果を踏まえ整備が必要な学校について、学校整備5ヶ年計画を策定する上でどういう取り扱いをしていくのか。

**答** 何らかの対応が必要になる。

**問** 学校整備計画審議会はいつ開かれるのか。

**答** 11月頃を予定している。

**問** がん検診の強化について、議会が、県の新しい公共の場づくりのためのモデル事業の採択を受けたことから、この組織と一緒に市民活動の支援をすることがよ



として経営努力を期待し、株主として責任を果たす。

問 三セクの代表取締役の責任について問う。

答 取締役会と市の両方に責任がある。

問 三セクの経営会議、取締役会の実施状況から、経営改善が急務と考えるが対策は。

答 取締役会で収支改善計画を策定し取り組む。

問 (株)きのこハウスは市が四億三千万円で買収し公の施設となつた。経営と施設の整備状況を問う。

答 機械設備の更新は市で行う。



**安達 美津子 議員**

人が発生した。どういった理由なのか。

答 平成22年度末で累積債務の解消が予測されていたので、自社株の保有が可能となることや、株主から株の買い取りの要望もあつたので、7名が保有している株を2名の取締役で購入してもらい、株の受け入れを行つた資金である。その株を自社株化にする予定であったが、累積債務の解消に至らなかつたため、自社株の購入ということにはならなかつた。

問 金融機関から会社自らが借入しなくとも、本来であれば買おうとする株主が、自分で資金調達して買上げるべきではないか。

答 将来的に自社株にする予定であったので、会社で借入を行つた。利息については、役員より会社に支払われている。

問 役員より元金の返済は行われていない。市はこれまで、経営が軌道に乗るよう莫大な税金を投入し支援してきた。そのため、社会

的責任も大きい会社である。障がい者の方が安定した運営状況の中で、就労訓練できるよう経営については慎重であるべきである。借入をして役員に貸し付けを行うようなことは本来あつてはならない。

三セクの運営状況は、市財政にも影響を及ぼすことから、専門性を持つて個別外部監査制度の導入を検討すべきではないか。

答 経営は会社で決めることが多いと思うので、どうこう言うものではないと思っている。

答 実際に避難場所に移動したケースもある。2・3学期に実際の避難訓練をすることになると考えている。

答 実際に避難場所に移動したケースもある。2・3学期に実際の避難訓練をすることになると考えている。



**津波想定の避難訓練をする吉田小児童**

## 放課後児童クラブの充実

問 長期休業中の開所時間を15分早めることができないか。

答 ニーズ調査を行いながら、運営委員会の意見を聞いていきたい。



**福原 宗男 議員**

## 益田日赤病院の医師確保の現状

問 長期休業中の開所時間を15分早めことができないか。

答 ニーズ調査を行いながら、運営委員会の意見を聞いていきたい。

問 若年医師は3人に1人以上は女性医師、持続可能な労働力として期待される。しかし、医師免許を取得したのに出産・子育てと重なり、現場に出られない。ワーカーライフバランスを重要視した経営は、病院だけではなく社会的必然。地域医療対策室を設置してからどのように医師確保は進んだか。

問 浜田市は単独で地震・津波ハザードマップを作成、電柱に標高表示板を設置することなどの取り組みを始めている。市独自の取り組みの考えは。

答 県が津波想定の見直し

問 平成22年度の決算報告の際、新たに二千万円の借

りのこハウスの運営状況

問 平成22年度の決算報告

問 役員より元金の返済は行われていない。市はこれまで、経営が軌道に乗るよう莫大な税金を投入し支援してきた。そのため、社会

問 津波ハザードマップを作成、電柱に標高表示板を設置することなどの取り組みを始めている。市独自の取り組みの考えは。

答 実施していないが、各クラブに伝えていく。



**福原 宗男 議員**

**答** 対策室は平成21年4月に設置した。しかし、益田赤十字病院の医師数39名が、23年4月は34名に減少した。

**問** 医師不足の厳しい状況を何とかしようと、地域枠推薦ができるが、現在何人か。

**答** 6年生1名、4年生1名、3年生2名、2年生4名、1年生2名計10名、男女は5名ずつ。

**問** 日赤の新築に伴う施設改善について、女性医師への支援は。

**答** 女性職員の働きやすい環境整備をするために、院内保育の検討が進んでいる。

**問** 「代わりの医師」がいない。これでは女性に子育てを認めないことと同じだ。産婦人科の20代女性医師は73・1%（島根は全員女性）、小児科50・1%。ホームページに基本計画を載せて、医者になろうとする若い人に注目してもらえるようにしていただきたいが。

**答** 市としては、そういう

### 健康ますだ市21推進計画



女性医師の働きやすい体制整備が期待される益田日赤病院

**答** 関心を行動にどうつなげるか非常に難しい問題。さまざまな機会を通じ情報を周知し、啓発活動と健康意識の向上につなげていく。

**問** 会派で長野県松本市を視察した。

「健康寿命延伸都市宣言」をしていると、いうことで、特に注目したい。保健補導員制度を非常勤特別職として位置付けているがどうか。

**答** 大変重要な提案だが、「健康ますだ市21」も県内外で高い評価を得ている。そういう蓄積を生かしながら今後どの部分が必要か研究したい。

**問** 認知症患者数は、推計で平成17年は169万人、平成22年には220万人で、今も増加の一途をたどると言われているが。

**答** これからは高齢者社会もしくは高齢化の進展に伴い、認知症患者の増加が見込まれる。

**答** 健康や病気に関心は高いが行動に繋がっていない。

**答** 関心を行動にどうつなげるか非常に難しい問題。さまざまの機会を通じ情報を周知し、啓発活動と健康意識の向上につなげていく。

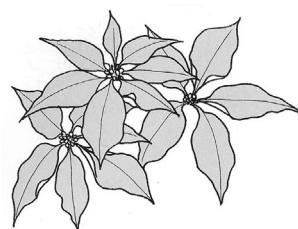
**問** 市長や執行部と熱い議論を展開しました。

暑い夏の選挙戦を終え、新人議員8名と現職議員18名の26名で、9月の益田市議会定例会が開催されました。一般質問には、新人議員5名を含む16名が

用・中山間地域対策など課題が山積しています。何を優先させるのかが、今後の大きな課題であります。東日本大震災や台風12号・15号の災害、またタイの大洪水など気候の変化で、いつどこで災害が発生するか分からぬ時代となりました。市民の安全・安心を第一に考えながら進めいかなければなりません。議会として市民の声を届け、市政発展のための協議を進め、市民との協働が大事です。

議会だよりも新人3人が加わり7人で編集することになりました。市民の皆さんに分かりやすい議会だよりを目指して取り組んでまいります。

永見 おしえ  
おしえ



◆◆編集委員◆◆	
委員長	永見 おしえ
副委員長	中島 守
委員	山本 浩章
委員	大畑 一美
委員	弥重 節子
委員	安達 美津子
委員	義生